

## 大垣西濃信金が 100周年記念ロゴ

### スローガンも発表

大垣西濃信用金庫(大垣市恵比寿町、小川章理事長)は27日、来年12月に迎える創立100周年を記念したロゴマークとスローガンを発表した。来年1月からパンフレットやチラシで活用する。

ロゴマークは水引をイメージした3本のひもで、数字の「100」を表現。地域と顧客、同金庫が「三方



大垣西濃信用金庫が発表したロゴマークとスローガン

よし」の精神で堅く結びつくことを表した。ひもの色は「地域の人々の情熱」を赤、「お客さまの輝く未来」を金で表し、同金庫ブランドカラーの青の3色を使用。「おかげさまで100周年」の文字も添えた。

スローガンは「未来(あした)をつなぐ」。地域と顧客に寄り添い、ともに輝く未来を切り開くという思いを込めた。

1924年12月23日、大垣信用組合が設立され、51年に大垣信用金庫に改組。2016年に西濃信用金庫と合併し、大垣西濃信用金庫となった。岐阜、愛知両県に31店舗4出張所があり、役員員数は443人(今年3月末現在)。23年3月期の期末預金残高は7708億500万円、期末貸出金残高は3558億3千万円。